

事前評価調書

I 事業概要																																		
事業名	農業農村整備事業（防災ダム事業）																																	
地区名	あしのべいけ 足延池地区																																	
事業箇所	岡崎市欠町																																	
事業のあらまし	<p>本地区は、岡崎市の西部に位置しており、足延池、鳩ヶ池は地域のかんがい用水源として重要な役割を果たしている。</p> <p>しかし、堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足により、万一、決壊した場合には、下流の人家や公共施設等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、早急に地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p>																																	
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <p>（基準雨量：250.3mm/日、1/200年確率雨量）</p>																																	
事業費	事業費	内訳																																
	2.5億円	■工事費	2.2億円、	□用補費	億円、	■その他 0.3億円																												
事業期間	採択予定年度	2021年度	着工予定年度	2022年度	完成予定年度	2024年度																												
事業内容	<p>（足延池） 堤体工、洪水吐工（緊急放流施設付） 各一式</p> <p>（鳩ヶ池） 洪水吐工（緊急放流施設付） 各一式</p>																																	
II 評価																																		
①事業の必要性	1) 必要性	<p>本地区のため池は、堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足により、地震時・豪雨時に決壊する恐れがある。</p> <p>このため、堤体・洪水吐等の改修や緊急放流施設の設置により、ため池の決壊を未然に防ぎ、農業生産の維持・農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>必要能力</th> <th></th> <th>足延池</th> <th>鳩ヶ池</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">堤体の耐震化</td> <td>安全率</td> <td>現況</td> <td>0.590</td> <td rowspan="2">能力有</td> </tr> <tr> <td>1.2以上</td> <td>計画</td> <td>1.206</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急放流施設の整備</td> <td>放流時間</td> <td>現況</td> <td rowspan="2">新設</td> <td rowspan="2">新設</td> </tr> <tr> <td>24h以内</td> <td>計画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">洪水吐の改修</td> <td rowspan="2">計画排水量 (m³/s)</td> <td>現況</td> <td>2.73</td> <td>4.73</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>7.75</td> <td>8.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（2015年9月農林水産省農村振興局整備部監修）に基づき算定したB/Cは22.65であり、基準値の1.0を超えている。</p>						必要能力		足延池	鳩ヶ池	堤体の耐震化	安全率	現況	0.590	能力有	1.2以上	計画	1.206	緊急放流施設の整備	放流時間	現況	新設	新設	24h以内	計画	洪水吐の改修	計画排水量 (m ³ /s)	現況	2.73	4.73	計画	7.75	8.02
		必要能力		足延池	鳩ヶ池																													
堤体の耐震化	安全率	現況	0.590	能力有																														
	1.2以上	計画	1.206																															
緊急放流施設の整備	放流時間	現況	新設	新設																														
	24h以内	計画																																
洪水吐の改修	計画排水量 (m ³ /s)	現況	2.73	4.73																														
		計画	7.75	8.02																														
判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足等により、ため池決壊の危険性が高いことから、本事業により災害の未然防止を行うことが急務であるため。</p>																																

②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・足延池 堤体工</td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td>・足延池 洪水吐工</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・鳩ヶ池 洪水吐工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">2.5</td> <td>2.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							2021	2022	2023	2024	合計	工種 区分	調査・設計	←→					工事					・足延池 堤体工		←→	←→	←→	・足延池 洪水吐工			←→	←→		・鳩ヶ池 洪水吐工				←→		事業費（億円）		2.5			2.5	
			2021	2022	2023	2024	合計																																										
	工種 区分	調査・設計	←→																																														
		工事																																															
・足延池 堤体工			←→	←→	←→																																												
・足延池 洪水吐工				←→	←→																																												
	・鳩ヶ池 洪水吐工				←→																																												
事業費（億円）		2.5			2.5																																												
2) 地元の合意形成	地元からの申請事業であり、事前に地元関係者への説明などを行っており、合意形成は図られている。																																																
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。																																															
	【理由】	地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。																																															
Ⅲ 対応方針																																																	
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																																																
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																	
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 事業後の決壊被害の有無を確認 ※事業完了後5年以内に計画規模と同等の地震及び降雨が発生した場合、その地震及び降雨により評価する。 事業完了後5年以内に計画規模と同等の地震及び降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の地震及び降雨により評価する。																																																	